



R6.11.27 看護師 吉武

早いもので、今年も残すところ1ヵ月となりました。今年はどうな1年になりましたか？12月の締めは待ちに待ったクリスマスです。サンタさんは子どもたちの期待に応えようと大忙しですね。お休み中は生活リズムが乱れやすくなるので体調管理には十分気をつけましょう。

安全に食べよう

「手づかみ食べ」や「かじって食べる」ことはおくち育てに有効です。

2014～2019年
14歳以下の子ども

80名が
食品による窒息死



うち9割が5歳以下の子ども

窒息が起きる子ども側の要因

食べる(かむ、飲み込む)力

食事の時の行動(泣く、おしゃべり、立ち歩くなど)

出典 消費者庁「食品による子供の窒息・誤嚥事故に注意！」

安全に食べるためには、手づかみ食べやかじって食べることでお口を育てることが大切です。よく噛んで食べる、窒息につながりやすい食べ物は大人がそばで見守るなど、安全に食べられる工夫をしましょう。窒息を心配するあまり、いつまでもペーストやマッシュ、みじん切りなどを食べさせてもらっていると、安全に食べるお口が育ちません。お子さんのお口の発達に合わせて大人が見守りながら、固さや大きさを変え、手づかみ食べやかじって食べることをさせましょう。

秋～冬に急増！ 嘔吐・下痢

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスなどによって感染します。高熱はあまり出ないと言われていますが、嘔吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状になると大変危険です。嘔吐を誘発しないよう慎重に水分補給をし、安静に過ごしましょう。

登園について

嘔吐や下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれるようになったら登園は可能です。登園の条件を満たしていても、登園してもぐったりしているお友だちも時々みられます。しっかりと回復されて登園されるようにお願いします。(要登園届)

知っておこう

嘔吐物の処理の仕方

家庭でも二次感染予防のために、嘔吐物の処理にご注意ください。

- ① マスクと使い捨ての手袋をつけ、使い捨ての布や新聞紙などで嘔吐物を周辺から拭き取ります。
 - ② 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を薄めた消毒液で、嘔吐物のあった部分を再度拭きます。必ず水拭きも行います。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、消毒液をかけてから密封して捨てます。室内の換気も行いましょう。
 - ③ 嘔吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分以上つけてから洗濯すると良いでしょう。
- ※ 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、園内で洗うと他園児への感染拡大につながりますので、そのまま返却します。ご理解のほどよろしくお願いします。



<11月の感染症状況> そよかぜ・・・アデノウイルス感染症 1名 チェリー・・・感染性胃腸炎 1名

